

食料品価格の高騰が 個人消費を抑制している



神奈川県内景気

- 3月の財輸出は高水準を維持。2月と同様に、米追加関税発動前の駆け込み需要が発現した模様。一方、インバウンド消費はここ数か月、拡大基調に一服感がみられる。
- 2月の県内製造業の生産活動は、横ばい圏内で推移した。
- 2月の実質賃金（家計の購買力）については、なお前年割れが続いている。
- 3月の個人消費について、財は横ばい圏、サービスは勢いを欠いている。食料品の価格高騰が家計の負担を増大させ、個人消費を抑制している。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。

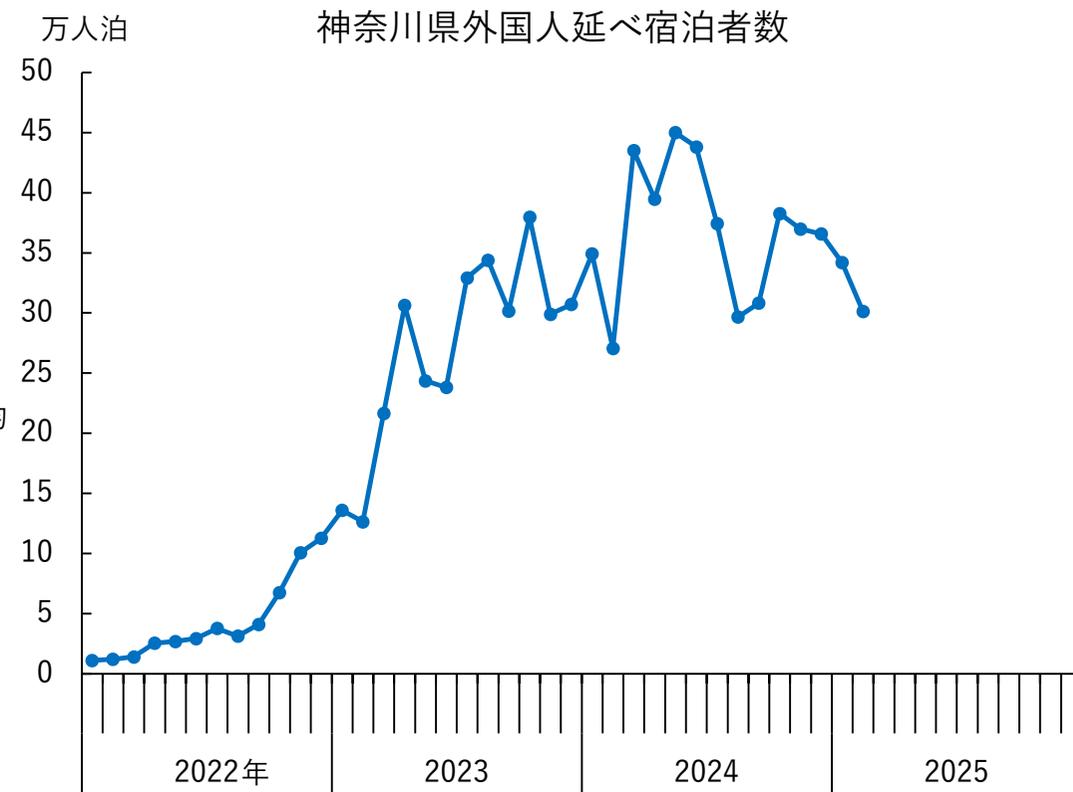
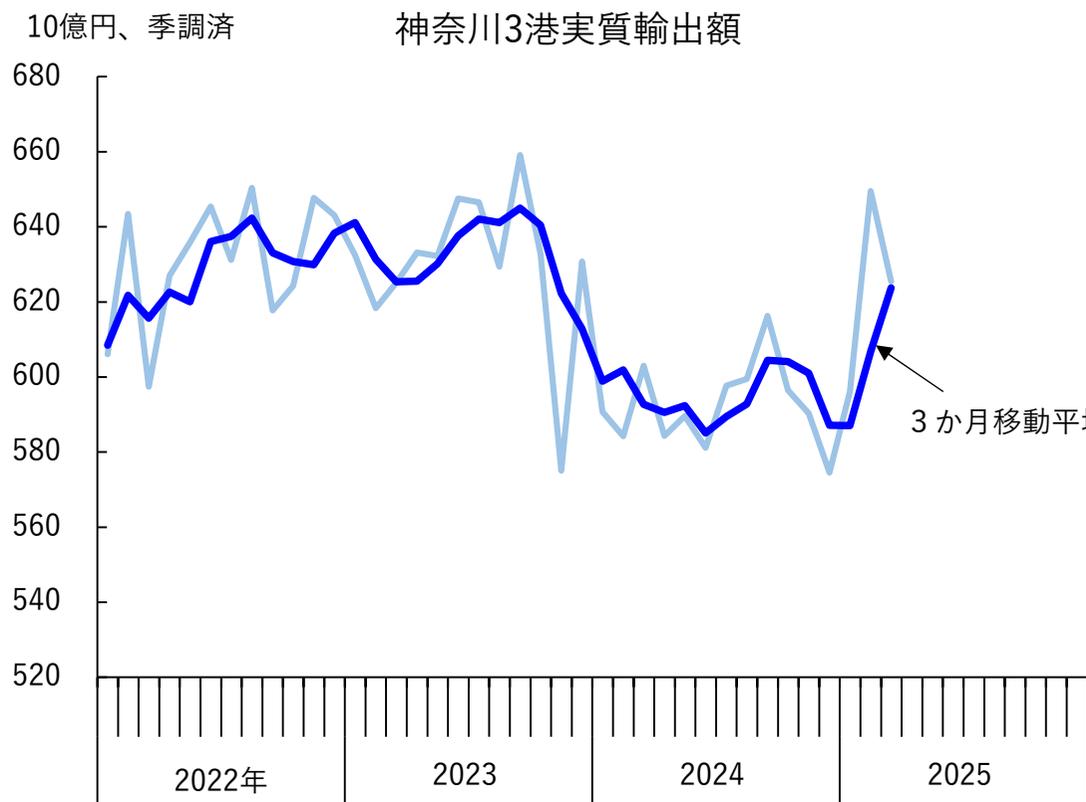


横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



- 財の輸出は一時的に高水準で推移している。神奈川3港（横浜港、川崎港、横須賀港）の3月の実質（≒数量ベース）輸出は、前月比ではマイナスとなったものの、3か月移動平均では上向いた。2月と同様に、米国向けの自動車の輸出が多かった。米国政府による自動車への追加関税発動を目前にした3月は、駆け込み需要が発生していたことが示唆される。
- インバウンド消費はここ数か月、拡大基調に一服感がみられる。2月の外国人延べ宿泊者数は前年比で増加したものの、2024年前半までの上昇ペースと比較すると明確に増勢が鈍化している。



注：季節調整は当社で施した。

出所：観光庁「宿泊旅行統計」

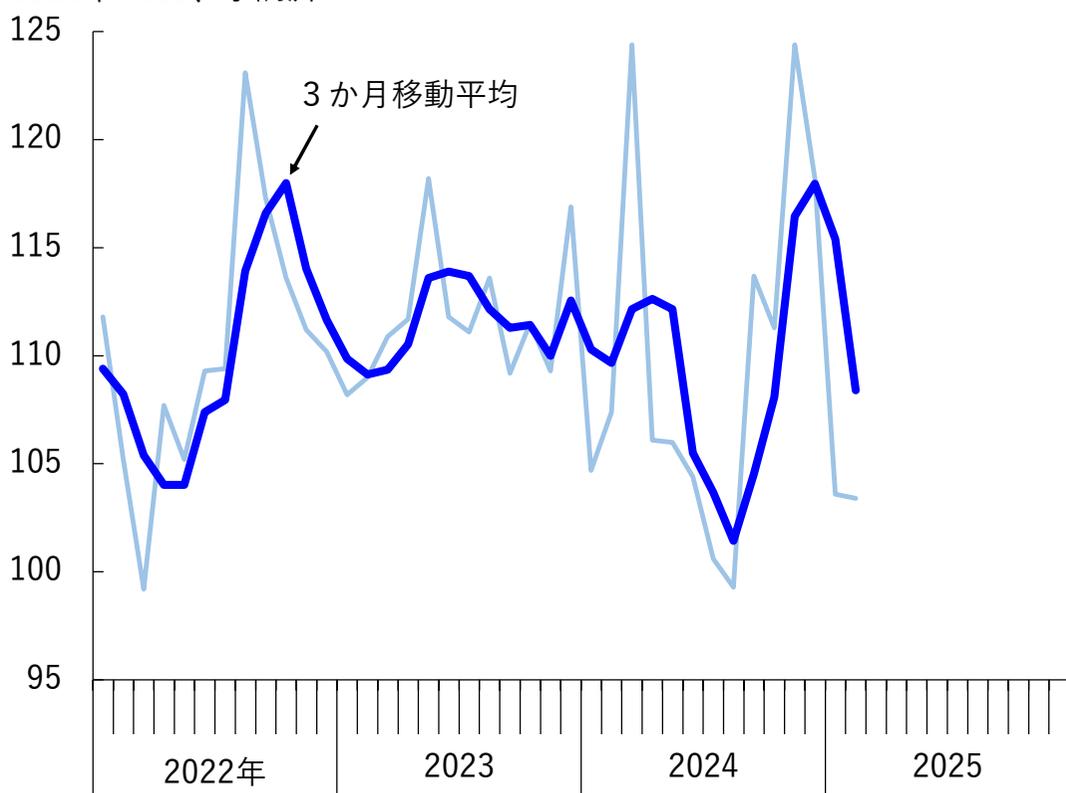
出所：財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より浜銀総研作成



- 2月の工業生産指数は前月比-0.2%と、横ばい圏内で推移した。
- 主要業種別にみると、生産用機械（前月比+12.5%）が上昇した一方、化学が横ばい、食料品・飲料（同-1.1%）と輸送用機械（同-2.4%）は低下した。
- 他の業種をみると、2024年12月に大幅に上昇した電子部品・デバイス工業は、引き続き高水準を維持している。世界的な半導体市場の回復が同業種の追い風になっているとみられる。ただし、生産指数に占める同業種のウエイトは小さいため、指数全体への押し上げ効果は限定的。

製造工業生産指数（神奈川県）

2020年=100、季調済

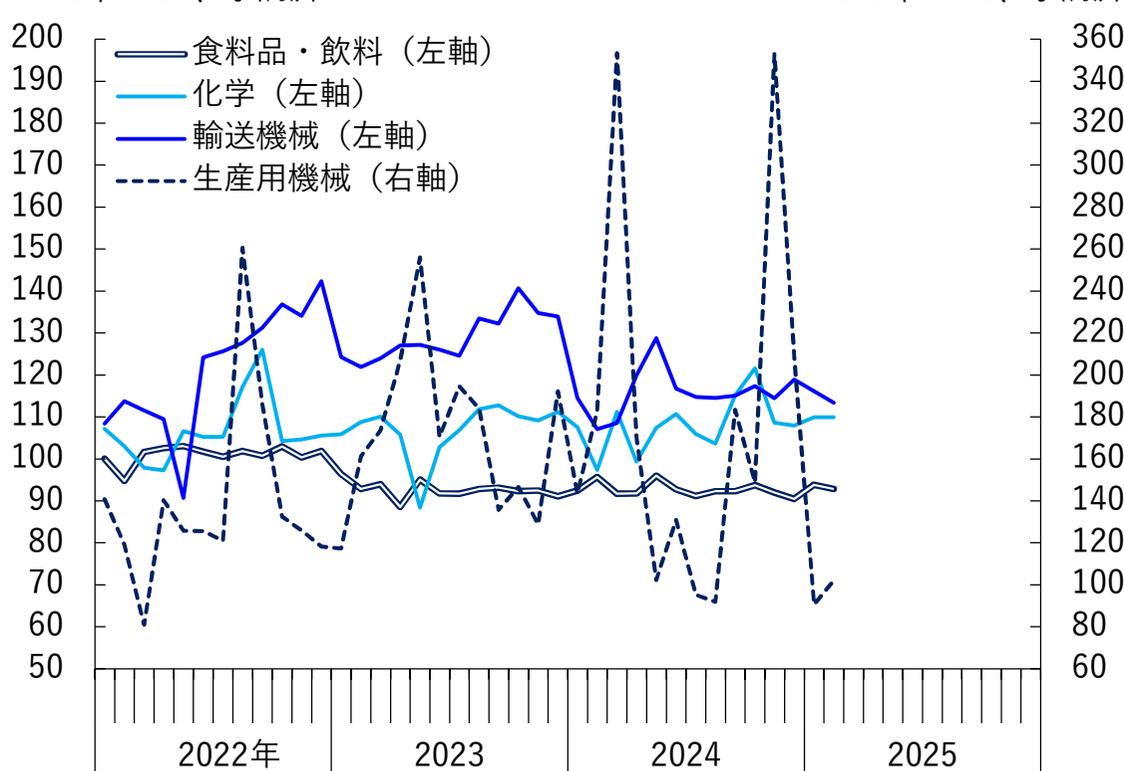


出所：神奈川県「工業生産指数」より浜銀総研作成

主要4業種の生産指数（神奈川県）

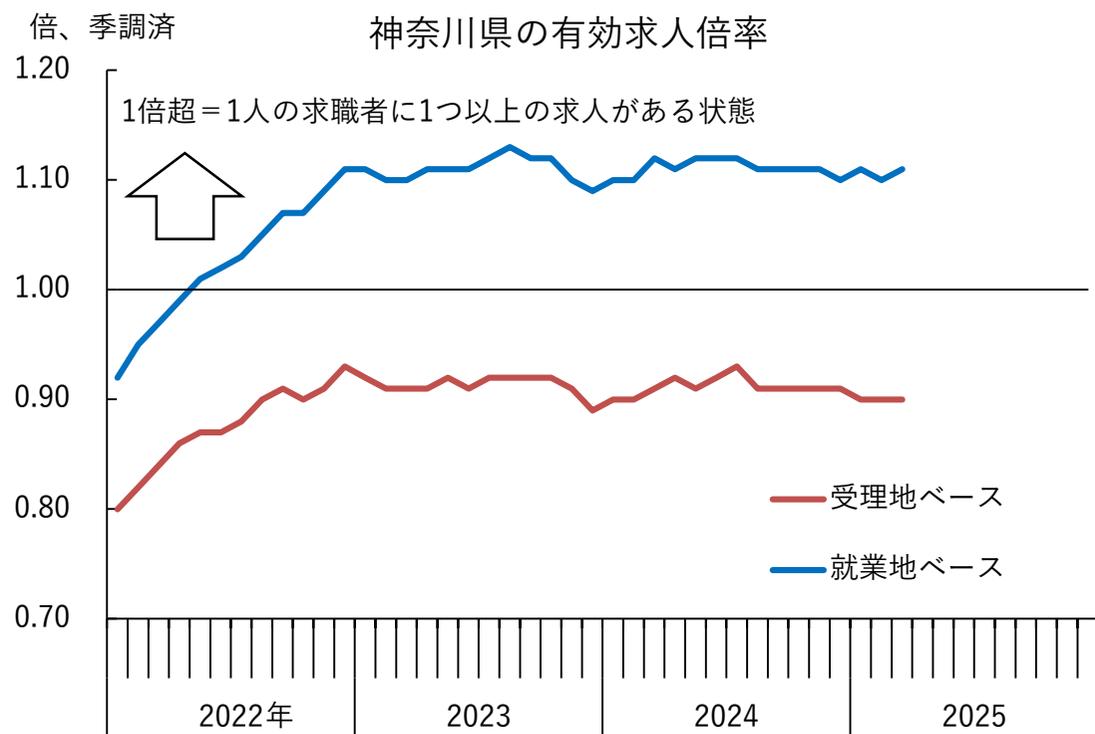
2020年=100、季調済

2020年=100、季調済



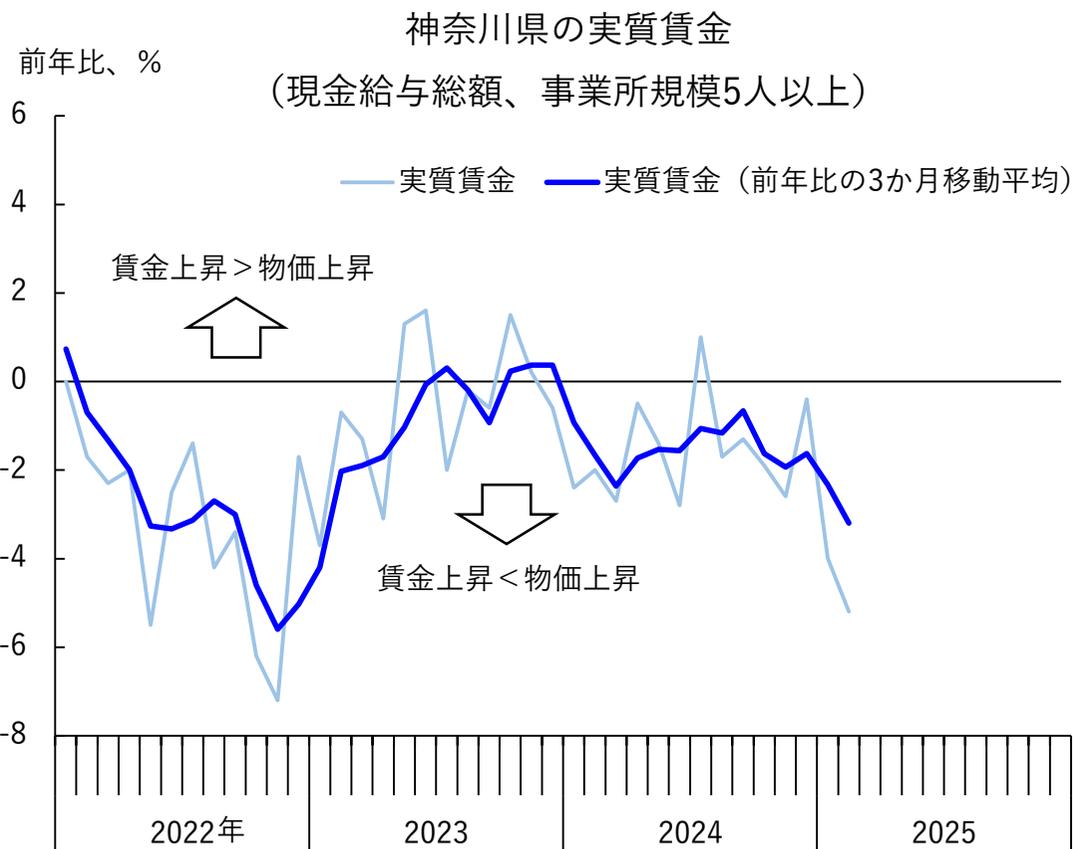
出所：神奈川県「工業生産指数」

- 3月も県内雇用情勢は横ばい圏内の動き。県内雇用情勢の実態をより反映していると考えられる就業地ベースの有効求人倍率は1.11倍となり、前月比でわずかに上昇した。就業地別の有効求人数が増加（前月比+0.5%）し、有効求職者数が減少（同-0.4%）した。
- 家計の購買力を示す実質賃金（事業所規模5人以上）は2月に前年比-5.2%と、7か月連続の前年割れとなった。2025年2月は、うるう年だった24年2月と比較して所定外労働時間（残業時間など）が少なく、その分、実質賃金の下押しされたとみられる。ただし、実質賃金は3か月移動平均でも前年割れの状況が続いており、低下基調に変わりはない。



注：受理地ベースは、神奈川県内で受理した求人票をベースとした集計。就業地ベースは、実際に神奈川県内に就業する求人をベースとした集計。

出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」、神奈川労働局「労働市場速報」

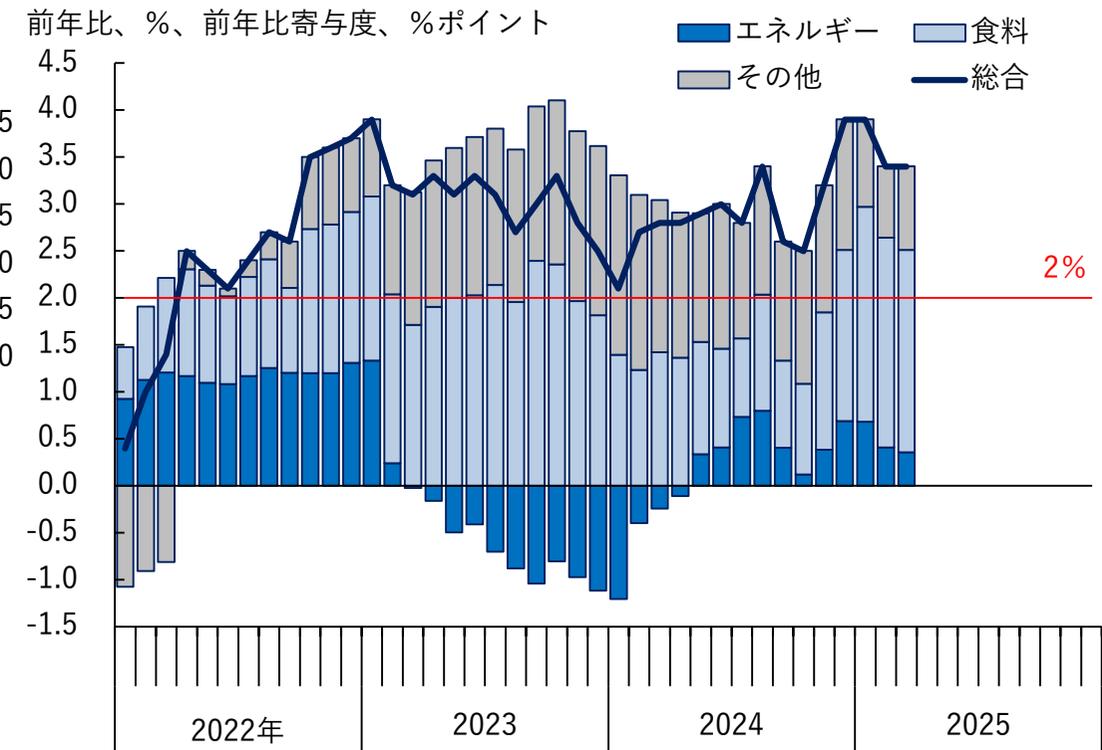
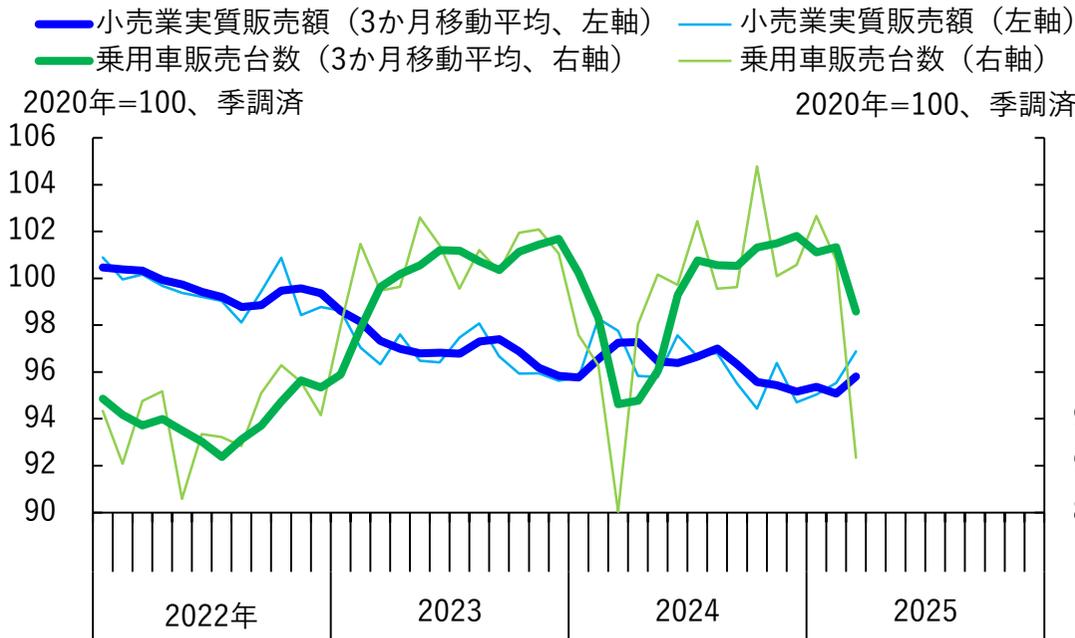


出所：神奈川県「毎月勤労統計調査地方調査」より浜銀総研作成

- 3月の横浜市の消費者物価指数（総合、前年比）は前年比+3.4%となった。食料は前年比+8.0%と高い伸びが続いた。食料品の価格高騰が家計の負担を増大させ、個人消費を抑制している。
- 財消費は横ばい圏内での推移にとどまっている。3月の小売業実質（≒数量ベース）販売額は前月比で+1.4%と増加し、3か月移動平均も同+0.8%増加した。一方で、乗用車販売台数は前月比で大幅に減少した。
- サービス消費は勢いを欠いている。3月の内閣府「景気ウォッチャー調査（南関東）」の景気判断理由集では、飲食店や旅行代理店などで物価上昇が業況へ悪影響を与えていることを示唆するコメントがみられた。

神奈川県の小売業実質販売額と乗用車販売台数

横浜市消費者物価指数（総合）



注：小売業実質販売額は、横浜市の消費者物価指数を用いて、概ね財価格の指数となるようにデフレーターを作成し、実質化した。なお、販売額は、百貨店、スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアの店舗調整前の合計値。また、季節調整は当社で施した。

出所：経済産業省「商業動態統計」、神奈川県自動車販売店協会資料、全国軽自動車協会連合会資料、総務省「消費者物価指数」より浜銀総研作成

注：その他は総合からエネルギー、食料を差し引いた残差。

出所：総務省「消費者物価指数」より浜銀総研作成



浜銀総合研究所



調査部 研究員補
井町淳哉

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5